

クラスより



ひよこ組

今月の目標

- ・一人ひとりの生活リズムで安定した生活をする。
- ・春の自然にふれながら戸外で外気浴をする。

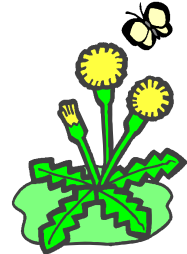
入園当初は抱っこしている保育士の顔をじ〜っと見つめ突然泣き出す姿がありました。1ヶ月一緒に生活する中で保育士の顔も覚え安心して生活出来るようになりました。ひよこぐみの子たちは午前寝をするのでみんなで何かをして過ごすのではなく一人ひとりの生活のリズムに合わせて「遊び・食事・睡眠」を取り入れ一定したリズムで生活しています。起きている時間は絶好のスキンシップの時間です。話しかけたりふれあい遊びをしたりオムツ交換時にはベビーマッサージをすることもあります。今ではこうした保育士との関わりを喜ぶようになりました。

<みんな大きくな〜あれ！>

5月5日の子どもの日に向けて画用紙で作ったかぶとをかぶって記念写真を撮ったり手形を利用して大きなこいのぼりも作りました。手形押しでは絵の具のついた手を不思議そうに見つめたり両手を合わせて見たりしながら何かを感じ取っているようでした。

先日はお忙しい中、家庭訪問または面談をさせていただきありがとうございました。保護者の方から話していただいたことを参考に今後も一人ひとりに合わせた保育をしていきますのでどうぞよろしくをお願いします。また要望等何かありましたらいつでも声を掛けて下さい。

今月から新しいお友達が増え、男児2名 女児3名 計5名のクラスになりました。



りす組

今月の目標



- ・ 保育士の話し掛けを喜んだり、自分から片言でしゃべれる事を楽しむ。
- ・ 様々な遊びを通して、友達と一緒にいる事を好む。

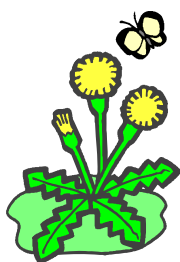
新生活がスタートして、一ヶ月が経ちました。始まったばかりの頃は、園に入所して、何も分からない新入園児に対して、在園児が手を引いてくれたり、そっとおもちゃを差し出してあげる姿もみられました。段々と新入園児も、自分の好きな遊びや安心出来る居場所が見つかってきたようです。りす組の中でも、一人ひとりの発達に合わせて遊べるように、月齢の大きい子、小さい子とに分かれて活動する事があります。

月齢の大きい子は、支援センターで遊んだり、先日は雨の日にカッパを着て、雨降り散歩にでかけました。雨の日に外に出るのは、最初少し抵抗があったようですが、一歩出てしまうと、水しぶきをたてて水たまりに入り、大喜び！又、絵の具の入ったパックで色水遊びをすると、「すごい！！」と友達と顔を見合わせ、驚きを共感する姿がみられました。体験して、感じた事を言葉で表現出来るようになってきて、私達も、嬉しく思います。

月齢の小さい子は、ひよこ組さんの子と一緒に、伝い歩きをして「アー！」「ウー！」と喃語を発したり、保育士と触れ合い遊びをして楽しんでいます。友達が笑っているのを見ると、自分まで嬉しくなり、つられて一緒になって笑うかわいらしい姿もみられます。

時々こうして、活動を分け、一人ひとりが落ち着いて遊べるような環境で、保育をしていきたいと思えます。

* 家庭訪問に御協力頂き、ありがとうございました。



うさぎ組

今月の目標



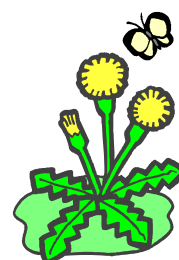
新しい環境に馴染み、安心して過ごせるようにする。
保育士や友達といっしょに戸外遊びを楽しむ。

入園児3名、進級児10名の13名で、うさぎぐみがスタートしました。進級児は、りすぐみからの友達や持ち上がりの保育士もおり、移行期間もあったことで、落ち着いて過ごす姿がありました。新しく入った3名も、少しずつ、ひとりひとりのペースで園生活に馴染んでくれています。遊びの中にも入り自分の気持ちを伝えることが出来たり、集まりの時にみんなで話をきくことや、手遊びをしたり歌をうたって楽しむ姿がありました。ひとりひとりのがんばりを温かく見守り、応援していきたいと思っています。

元気一杯のうさぎぐみの子ども達は、外遊びが大好き。園庭では、砂場でごちそう作りや、遊具を使っての遊びを楽しんでいます。以上児クラスのお兄さん、お姉さんの遊ぶ姿を見て『自分もしてみたい!』と真似をしたり、チャレンジする姿も多くみられました。そんなうさぎぐみの子に優しく声をかけてくれる以上児さん。子どもたちの刺激しあい、育ちあう姿もたくさんありました。子どもたちの力って凄いです。

散歩では、たんぽぽにつくし、だんごむしにチョウチョとたくさんの春を見つけて楽しみました。「あっ、たんぽぽ!」「あっ、だんごむし!」ひとつひとつの発見にかわいい歓声があがっていました。

疲れが出てきて、体調を崩すこともあると思います。体調に気をつけながら、過ごしていきたいと思います。



トトロ組

今月の目標



- ・ 生活リズムを知り自分のことを自分でしようとする。
- ・ 戸外で思いっきり身体を動かして遊ぶ。

3 歳児

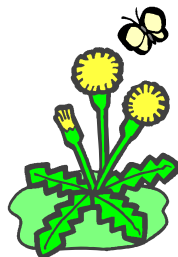
トトロ組になって一ヶ月が経とうとしています。新しい友達が8人入り全員で20人となりました。新入児は不安な思いを抱きながらも自分の居場所を見つけ好きな遊びをする姿があり、自分の事は自分でしようとする姿がみられるようになりました。集団生活の中で自分の思い通りにならない事もたくさんあり、時には嫌になったり喧嘩をしたりすることもあります。その時は自分の気持ちをどのように伝えたいのか、また相手の気持ちを考えられるように保育士が仲立ちとなっていくことで皆で過ごすことが楽しいと思えるようになっていってほしいと思います。



進級児は少しずつ生活リズムが身につく、友達や保育士と好きな遊びをする姿が見られます。お姉ちゃんと一緒に遊んだり、お世話をしてもらって信頼関係もできているようです。異年齢のお兄ちゃん、お姉ちゃんと一緒に過ごす事で優しさや思いやりの気持ちを感じていってほしいと思います。また刺激も受け大縄に挑戦したり、はさみを使って製作をしたりと吸収する事も多いようです。集まりでは自分の場所が決まっています。始めは自分の場所がわからない子も今では「〇〇ちゃんの後ろ!」と言って自分の場所に座って話しをきく姿がすこしづつ増えてきました。集まりの時間には大切な話しやまた楽しい事もいっぱいあることを知ってほしいと思います。

※朝の用意(身辺整理)は大人がするのではなく子ども(自分で)がするように声をかけていただきますようご協力をお願いします。

※持ち物には名前の記入をお願いします。



4 歳児

入園式も終わり、新しいクラス・担任でスタートしました。お部屋もかわり担任も変わったことで少し戸惑う子、緊張したり不安な様子を見せる子もいました。その反面クラスに自分たちより年下の子(年少さんたち)が増え、ぼくはお兄さん!わたしはお姉さん!と年中さんになったことに喜びを感じている姿もありました。

そんな中で、新入園児の年少さんが泣いていたり、どうしていいのかわからず困っている姿を見つけるとそっと隣にきて「どうしたの?」と優しく声をかけてあげる姿がありました。泣いている子には「大丈夫?」や「もうすぐママくるからね。」と声をかけてあげたり、困っている子には「一緒にしたろ!」「手伝ったろ!」や「こうやってするんやで。」と教えてあげる姿がありました。今はまだ、やってあげたい!教えてあげたい!という気持ちが先走ってしまうことがあり年少さんたちが驚いてしまうこともあります。子どもたちなりの優しさが伝わってきます。そんな姿に、こんなことも言えるんだと驚きもありましたが、私も嬉しい気持ちになりました。少しずつではありますが年中さんになったこと、一つ大きくなったことに自覚をもち始めているように思います。

これからどんどんお兄さんやお姉さんたちの姿になって成長していく子どもたちの姿がとても楽しみです。一年間、いろんな子どもたちの姿を発見して私自身、一緒に成長しながらも楽しく過ごしていきたいと思います。



- ・身の回りのことを自分からすすんでしようとする。
- ・好きな遊びを通して、気の合う友達を見つけ友達意識を高める。

3 歳児



4月に入り、初めての園生活や新しいクラスなどで不安な気持ちもある中、子ども達は自分なりに一生懸命に園生活に慣れようとしている姿を見ることが出来ます。子ども達の気持ちを大切にしながら、子ども達と楽しい生活を送れるように頑張りたいと思いますのでよろしくお願いします。

年少児は、お部屋の中で「遊ぼうよ」と誘って一緒に遊んでくれる年中、年長の優しいお兄ちゃんやお姉ちゃんを頼ったり、自分の好きな遊びを見つけて友達と一緒にコーナーや園庭で遊んだり毎日元気に過ごしています。また、絵本の中に出てくる動物や物を指差して「これは何？」と聞いたり、同じクラスの子どもについて「誰？」「名前は？」と聞いたりし、色んな物や人に興味を持ち友達や保育士と話をしたり遊んだりしながら関係を築いていっているのだと感じました。

こいのぼり製作では、「やってみる」「やってみたい」と意欲的に作ったり、絵の具やのりでベタベタになった手を「みてみて」と教えてくれたりする子もいました。また出来上がった素敵なこいのぼりを「みて～」と嬉しそうにみせてくれました。これからもいろんな経験を通していろんなことを感じ私も子どもたちと一緒に成長していきたいと思います。



4 歳児



新年度がスタートした4月。ピノキオ組15人の一年が始まりました。新しい環境の中で、とまどいを感じたり一つ大きくなれたことに嬉しさ・喜びを感じるなど、子どもたちなりに胸いっぱい感じているようです。これから一年間、子どもたちとともに色んな感情を味わいながら、毎日を大切に過ごしていけたらなと思います。

どうぞ、よろしくお願いします。

今月は天気がいい日は園庭で遊ぶことが多く、のびのびと遊んでいました。カラー帽子も紫色から水色へと変わりました。初めは子どもたちも「あれ？」という感じでしたが、年中さんになったんだ、ということの気づきでもあり、「もう年中さんやもん！」と言う子もいます。ささいな事でも、こうして一つ大きくなれたことの喜びを感じている子どもたちです。

また、一つ大きくなったことで年下のお友達もでき、ちょっぴりお兄さん・お姉さん気分を味わっています。例えば、集まりのときに年少さんの子に「こっちに座るの！」と教えてあげたりする姿が見られます。一つ大きくなれたことの喜び・嬉しさを感じながら、年下の子に優しい気持ちを持って関わっていった欲しいな、と思います。

今月の目標

ライオン組

- ・ あこがれていた年長児の活動に関心を持ち、挑戦しようとする。
- ・ 自分たちの生活を自分たちで考え、進めようとする。



4月に入り、園で一番大きい年齢のライオン組になりました。小さい子の世話をしたり、今まで出来なかったことに挑戦したりと頑張っている姿が見られます。

その中でも、大縄が流行しています。年中児の時にほとんど跳べなかった K 君が家で何回も祖母と練習し、「入り込み」や「連続30回以上」跳べるようになったことをほめられたことから、他の子も「やってみる」と挑戦する姿が見られるようになりました。

ある日、5歳児が自己記録を更新しようと大縄に挑戦していたら、その様子を見つめている4歳児の T 君がいました。しばらく見てから「僕もやってみようかなあ」と入ってきました。最初は1回跳び、その次からは何度やっても2回目が跳べませんでした。けれど、あきらめることなく挑戦する T 君に、5歳児も「もう1回やってみよう」とコツをつかむのを待ってあげたり、「失敗してもいいんだよ。誰でも最初はできやんのやで」と励ます姿が見られました。それと同時に、今まで自信がなくて何度誘ってもやらなかった5歳児の R 君も挑戦していました。T 君と同じように「できるかなあ。3回跳べるかなあ」と自分に言い聞かせたりと、自信を持とうとする心と不安な心とが戦っているようでした。

少しずつ記録を更新する度に、自分のことのように喜んでくれる仲間や担任の姿に T 君・R 君も嬉しそうでした。

ライオン組になり、就学前ということで文字を書いたり、読んだり、生活発表などを通して自己表現をすることなどを取り入れていきたいと思っています。けれど無理にさせるのではなく、自分からやってみようという思いになるのを待ってあげ、そして「失敗しても大丈夫。誰でも最初からうまくは出来ないんだよ。でも、それでもやってみよう」と努力し、「できた自分ってすごいんだなあ」と自信をつけ自分をほめてあげられる子ども達になって欲しいと思います。

私も子どもたちのいい所をいっぱい見つけほめていきたいと思っています。

